2027年３月期　中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月19日

上 場 会 社 名	株式会社働楽ホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5573	URL	https://www.doraku-holdings.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長ＣＥＯ	(氏名)西島　富久	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営企画本部長	(氏名)多田　良昭	TEL　03-5577-5333
中間発行者情報提出予定日	2026年12月24日	配当支払開始予定日	―

中間決算補足説明資料作成の有無　：　無

中間決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．2027年３月期中間期の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績　　(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,807	6.6	△23	―	△22	―	△17	―
2026年３月期中間期	1,694	7.2	△62	―	△61	―	△43	―

(注) 中間包括利益　2027年３月期中間期　△17百万円（－%）　2026年３月期中間期　△43百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△31.10	―
2026年３月期中間期	△78.20	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,875	1,039	55.4
2026年３月期	1,924	1,061	55.2

(参考) 自己資本　　2027年３月期中間期　1,039百万円　　2026年３月期　1,061百万円

２．配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	0.00	9.00	9.00
2027年３月期	0.00		
2027年３月期(予想)		―	―

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
　　２．2027年３月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	6.9	119	91.4	128	78.5	110	116.4	200.00

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	550,000株	2026年３月期	550,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	550,000株	2026年３月期中間期	550,000株

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページの「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の長期化や中東情勢をはじめとする地政学的リスク、米国の通商政策の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループが属するシステム開発事業分野におきましては、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進や業務効率化を背景に、クラウド環境への移行、既存システムの刷新、情報セキュリティ対策等に係るIT投資需要が引き続き堅調に推移しております。また、生成AIをはじめとする先端技術の活用が進展し、システム開発における生産性向上や業務の高度化への期待が高まっております。一方で、IT技術者の不足や人材獲得競争の激化が続いており、先端技術への対応力に加え、開発品質の確保やプロジェクト管理能力を備えた人材の確保・育成が重要な課題となっております。

当社グループのITシステム開発業務については、既存顧客との取引拡大に加え、新規顧客の開拓、企業経営管理ソリューションの拡大を推進してまいりました。結果として売上高は前年同期比で増加しました。営業損失は前年同期比では減少しております。当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2026年5月28日に公表いたしました業績予想値を据え置いております。

以上のような背景のもと、当中間連結会計期間における売上高は1,807,233千円（前年同期比6.6％増）、営業損失は23,928千円（前年同期は62,295千円の営業損失）、経常損失は22,297千円（前年同期は61,863千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純損失は17,105千円（前年同期は43,012千円の中間純損失）となりました。

なお当社グループは、システム開発事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

（ア）　流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ60,922千円減少し、1,095,481千円となりました。これは主として、売掛金が93,041千円減少、現金及び預金が40,193千円増加したことが要因であります。

（イ）　固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12,445千円増加し、780,209千円となりました。これは主として、ソフトウエア仮勘定が53,608千円増加、ソフトウェアが49,993千円減少したことが要因であります。

（ウ）　流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ28,220千円増加し、730,532千円となりました。これは主として、未払金が33,225千円増加したことが要因であります。

（エ）　固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ54,641千円減少し、105,961千円となりました。これは主として、長期借入金が54,996千円減少したことが要因であります。

（オ）　純資産

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22,055千円減少し、1,039,196千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純損失17,105千円を計上、剰余金の配当4,950千円

を実施したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、548,154千円（前年同期は625,913千円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は161,715千円（前年同期は192,808千円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額93,041千円、減価償却費の計上61,467千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は61,575千円（前年同期は69,503千円の使用）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出45,191千円、有形固定資産の取得による支出15,993千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は59,946千円（前年同期は73,390千円の獲得）となりました。これは、長期借入金の返済による支出54,996千円、配当金の支払額4,950千円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2027年３月期）の連結業績予想につきましては、2026年５月28日に公表いたしました業績予想値からの変更はなく、売上高3,900百万円（前期比6.9％増）、営業利益119百万円（前期比91.4％増）、経常利益128百万円（前期比78.5％増）、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円（前期比116.4％増）を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,960	548,154
売掛金	536,388	443,347
仕掛品	29,095	36,961
前払費用	8,155	6,755
その他	74,803	60,262
流動資産合計	1,156,403	1,095,481
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	119,469	116,217
工具、器具及び備品（純額）	35,374	31,111
建設仮勘定	2,178	13,318
有形固定資産合計	157,021	160,647
無形固定資産		
ソフトウエア	322,927	272,934
ソフトウエア仮勘定	14,395	68,004
のれん	17,446	16,199
無形固定資産合計	354,769	357,138
投資その他の資産		
繰延税金資産	109,674	115,735
関係会社株式	21,032	21,032
その他	125,265	125,655
投資その他の資産合計	255,972	262,423
固定資産合計	767,764	780,209
資産合計	1,924,168	1,875,690

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	183,743	170,697
１年内返済予定の長期借入金	109,992	109,992
未払金	117,019	150,245
未払費用	44,607	50,264
未払法人税等	19,860	819
未払消費税等	45,769	39,772
賞与引当金	142,852	163,057
受注損失引当金	2,218	－
その他	36,250	45,683
流動負債合計	702,311	730,532
固定負債		
長期借入金	108,348	53,352
資産除去債務	52,255	52,609
固定負債合計	160,603	105,961
負債合計	862,915	836,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,500	42,500
利益剰余金	1,018,752	996,696
株主資本合計	1,061,252	1,039,196
純資産合計	1,061,252	1,039,196
負債純資産合計	1,924,168	1,875,690

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

①中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,694,566	1,807,233
売上原価	1,158,106	1,291,049
売上総利益	536,459	516,183
販売費及び一般管理費	598,755	540,111
営業損失（△）	△62,295	△23,928
営業外収益		
受取利息	442	676
受取配当金	1	1
助成金収入	691	693
為替差益	56	1,252
その他	770	608
営業外収益合計	1,962	3,232
営業外費用		
支払利息	1,530	1,199
その他	－	403
営業外費用合計	1,530	1,602
経常損失（△）	△61,863	△22,297
特別損失		
固定資産除却損	390	－
特別損失合計	390	－
税金等調整前中間純損失（△）	△62,253	△22,297
法人税、住民税及び事業税	622	869
法人税等調整額	△19,622	△6,061
法人税等合計	△18,999	△5,191
中間純損失（△）	△43,253	△17,105
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△240	－
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△43,012	△17,105

②中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純損失（△）	△43,253	△17,105
中間包括利益	△43,253	△17,105
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△43,012	△17,105
非支配株主に係る中間包括利益	△240	－

（３）中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	974,836	1,017,336	8,577	1,025,913
当中間期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する中間純損失（△）		△43,012	△43,012		△43,012
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				△240	△240
当中間期変動額合計	－	△47,962	△47,962	△240	△48,203
当中間期末残高	42,500	926,874	969,374	8,336	977,710

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	42,500	1,018,752	1,061,252	－	1,061,252
当中間期変動額					
剰余金の配当		△4,950	△4,950		△4,950
親会社株主に帰属する中間純損失（△）		△17,105	△17,105		△17,105
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				－	－
当中間期変動額合計	－	△22,055	△22,055	－	△22,055
当中間期末残高	42,500	996,696	1,039,196	－	1,039,196

（４）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△62,253	△22,297
減価償却費	53,194	61,467
固定資産除却損	390	－
のれん償却額	1,246	1,246
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,347	20,205
受取利息及び受取配当金	△444	△678
支払利息	1,530	1,199
助成金収入	△691	△693
売上債権の増減額(△は増加)	189,805	93,041
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,539	△7,866
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,227	△13,045
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,172	△5,996
その他	24,440	54,867
小計	196,625	181,448
利息及び配当金の受取額	444	678
利息の支払額	△1,506	△1,199
助成金の受取額	691	693
法人税等の支払額	△5,417	△19,909
法人税等の還付額	1,971	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,808	161,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,688	△15,993
無形固定資産の取得による支出	△60,879	△45,191
資産除去債務の履行による支出	△780	－
保険積立による支出	△389	△389
敷金の回収による収入	9,235	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,503	△61,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△24,996	－
長期借入れによる収入	150,000	－
長期借入金の返済による支出	△46,664	△54,996
配当金の支払額	△4,950	△4,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	73,390	△59,946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	196,695	40,193
現金及び現金同等物の期首残高	429,217	507,960
現金及び現金同等物の中間期末残高	625,913	548,154

（５）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、システム開発事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。